Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Aortic Arch Calcification Predicts Cardiovascular and All-Cause Mortality in Maintenance Hemodialysis Patients

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小松, 水樹 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31326

主 論 文 の 要 約

Aortic Arch Calcification Predicts Cardiovascular and All-Cause Mortality in Maintenance Hemodialysis Patients

（血液透析患者における大動脈弓石灰化と生命予後との関連）

東京女子医科大学内科学（第四）教室

（主任：新田　孝作教授）

小松　水樹

Kidney and Blood Pressure Research 第 39 巻 658-67 頁（平成 26 年 12 月発行）に掲載

【目　的】

血管石灰化は，透析患者の心血管系合併症のリスクと関連する．胸部単純レントゲン撮影を用いた大動脈弓石灰化(AoAC)の評価は，一般集団において心血管死亡率と相関することが以前から報告されている．我々は，血液維持透析患者の AoAC の状態と進展に関連する因子を調査するため前向き研究を実施して，短期間の生命予後の関連性を検討した．

【対象および方法】

当院の無症候性の外来血液透析患者 301 例を対象とし前向きの検討を行った．AoAc は胸部単純レントゲンを用いて算出し，AoAC の程度を 3 つのグレード(0、1、2+3)に分類した．我々は年齢，性別，透析歴，合併症，生化学データを統計処理し，それから患者を 3 年間の観察期間で解析した．

【結　果】

AoAC は 126 例（41.9%）が 0 度，112 例（37.2%）が 1 度，63 例（20.9%）が 2+3 度であった．石灰化の重症化は，低アルブミン血症の高齢男性患者と関連していた．3 年間の追跡調査で，高度な石灰化は，心血管および総死亡率と関連していることが，多変量コックス比例危険解析で判明した．AoAC の重症度は生命予後の悪化と関連した．総死亡率は特に非進行性よりも進行性石灰化がみられる群で高率であった．

【考　察】

末期腎不全患者の血管石灰化は，心血管死亡率の危険因子と考えられており,本研究の対象群において,AoAC がある血液透析患者は 58％もいた．AoAC の存在が心血管死亡率と独立的に相関するという報告がある．本研究結果もこのエビデンスに一致し，AoAC の存在だけでなく，石灰化の範囲を考慮して AoAC を重症度に分類することによって，心血管死亡率と総死亡率の短期間予後を予測できること示した．

【結　論】

胸部レントゲンで評価した AoAC の存在と進行は血液透析患者の死亡率と独立的に相関した。胸部レントゲンで定期的な経過観察が、血液透析患者における死亡リスクを見極めるための簡便な方法と言えるだろう。